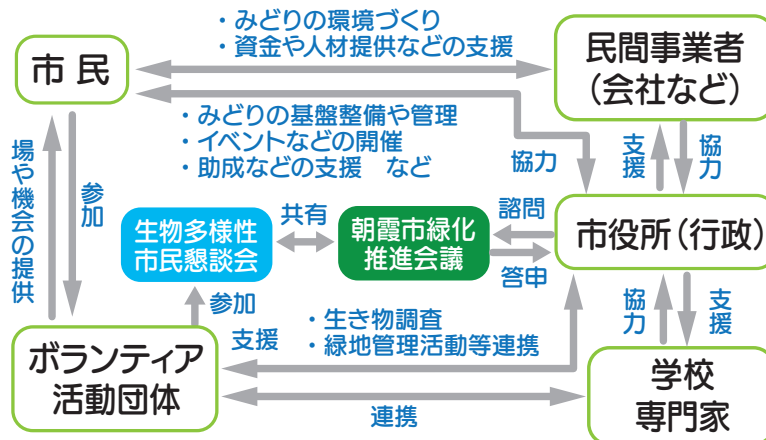


計画の実現に向けて

1 計画の推進体制

目標の実現には、市民、ボランティア活動団体、民間事業者、学校、行政など、朝霞に係るすべての人が一体となって取り組むことが大切です。それぞれの強みを生かし、力をあわせて、朝霞らしいみどりを未来へ育てていきましょう。



2 計画の進行管理

(1) 進行管理を図るための目標設定

計画が着実に進んでいるか、客観的な目標(指標)で確認します。

目標項目	現況値 令和7(2025)年度末	目標値 令和17(2035)年度末
みどりの満足度 「そう思う(+1.0)」～「そう思わない(-1.0)」 までの5段階評価の平均	+ 0.29	+ 0.30
市域に占める緑地の割合	21.5%	22.3%
一人当たりの都市公園の面積	2.13㎡/人	3.16㎡/人
公園の利用頻度	30.9回/年	31.9回/年

(2) グリーンインフラの多面的効用のモニタリング

みどりが持つ多様な効果が、実際に発揮されているかを継続的に調査します。最新のデータや市民の皆さんの声をあわせ効果を検証します。

(3) 定期的な進行管理と計画の見直し

この計画の推進にあたっては、年度ごとに事業進捗を整理し、朝霞市緑化推進会議において検証を行います。また、社会情勢の変化やグリーンインフラの効果検証の結果を的確に反映させるため、「P(計画)－D(実行)－C(評価)－A(改善)」のサイクルを回し、定期的な計画の見直しを行います。

